

Dell インタラクティブ  
プロジェクター  
S560P/ S560T  
取扱説明書



## メモ、注意、警告



メモ：「メモ」は、プロジェクタの使用に際して役立つ重要な情報です。



注意：「注意」は、指示に従わない場合ハードウェアの損傷やデータ損失の可能性を示しています。



警告：「警告」は、物的損害、負傷、もしくは死の可能性を意味します。

---

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2016 Dell Inc. All rights reserved.

Dell Inc. 社の書面による許諾を受けることなく、どのような形態であっても、本書を複製することは固く禁じられています。

本書で使用されている商標 :Dell および DELL ロゴは、Dell Inc. の商標です。DLP、DLP ロゴは、TEXAS INSTRUMENTS INCORPORATED の商標です。Microsoft および Windows は、米国および / またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書で使用されているその他の商標および製品名はそれぞれの所有者に帰属しています。Dell Inc. は他社の所有する商標や製品名の所有権をすべて放棄します。

モデル : Dell プロジェクター S560P/S560T

2016 年 6 月 Rev. A00

# 目次

<b>1 Dell プロジェクタについて</b> .....	<b>5</b>
プロジェクトボックスの内容.....	5
プロジェクトの上方図と底面図.....	7
プロジェクトの接続.....	8
画像サイズの調整.....	10
リモコン.....	12
<b>2 インタラクティブペンの使用 (S560P の場合のみ)</b> .....	<b>16</b>
システム要件.....	16
対話型ペンについて.....	17
対話型ペンのペン先を交換する.....	18
対話型ペンのバッテリーを交換する.....	19
S560P でのインタラクティブペンの使用.....	20
タッチエリア設定.....	21
ペンの校正.....	23
<b>3 インタラクティブタッチの使用 (S560T の場合のみ)</b> .....	<b>24</b>
システム要件.....	24
インタラクティブタッチの設定.....	25
S560T でのインタラクティブタッチの使用.....	25
タッチエリア設定.....	27
インタラクティブタッチキャリブレーション.....	29
S560T とドライ消去ホワイトボードの使用.....	30
<b>4 ワイヤレスディスプレイアダプタの接続</b> .....	<b>31</b>
ワイヤレスディスプレイアダプタの取り付け.....	31
ワイヤレスディスプレイアダプタの設定.....	32
<b>5 トラブルシューティング</b> .....	<b>33</b>
トラブルシューティングのヒント.....	33
ガイド信号.....	37

<b>6</b>	<b>メンテナンス</b> .....	<b>38</b>
	ランプの交換.....	38
	リモートコントロールバッテリーの交換.....	40
<b>7</b>	<b>仕様</b> .....	<b>41</b>
<b>8</b>	<b>追加情報</b> .....	<b>44</b>
<b>9</b>	<b>Dell へのお問い合わせ</b> .....	<b>45</b>

# 1

## Dell プロジェクタについて

---

このプロジェクタには次のものが付属しています。すべての付属品が揃っていることをご確認ください。不足の品がありましたら、Dell へのお問い合わせ。

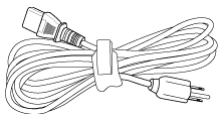
### プロジェクタボックスの内容

---

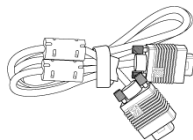
#### 同梱されているもの

---

電源ケーブル



5 m VGA ケーブル (VGA - VGA)



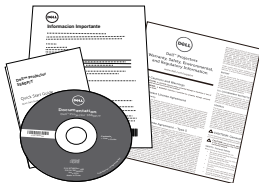
リモコン



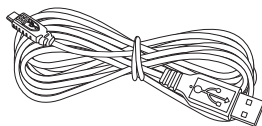
単 3 電池 (S560T は 2 本、S560P は 6 本)



CD、ユーザーガイドおよびドキュメント



5 m ミニ USB ケーブル (USB-A - ミニ B)

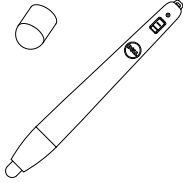


---

**パッケージの内容 (S560P のみ)**

---

インタラクティブペン (2個) /  
ペン先キャップ (4個)



リストストラップ (2個)

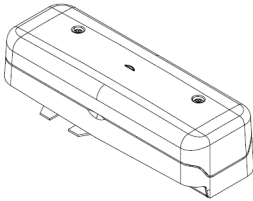


---

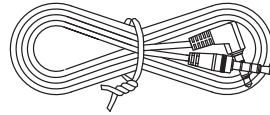
**パッケージの内容 (S560T のみ)**

---

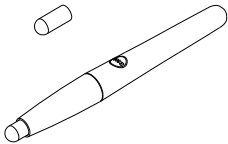
タッチユニット



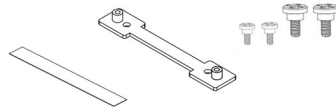
2 m DC to DC 電源ケーブル (タッチ  
ユニット用)



パッシブペン (2個) / ペン先 (2個)

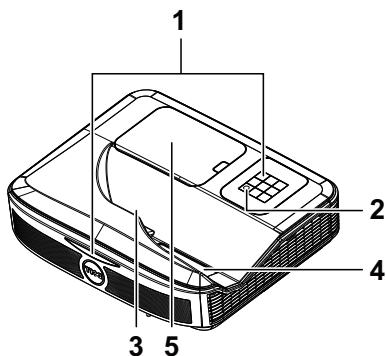


タッチユニットベースプレート  
キット

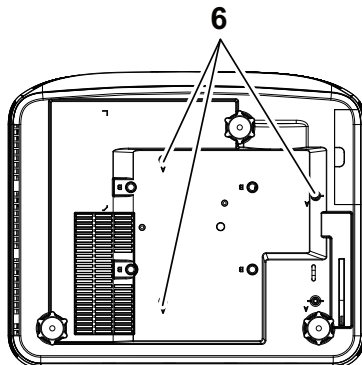


## プロジェクタの上方図と底面図

上方図



底面図



1 赤外線 (IR) 受信機

2 電源ボタン

3 カメラ

4 レンズ

5 ランプカバー

6 壁取り付け用穴

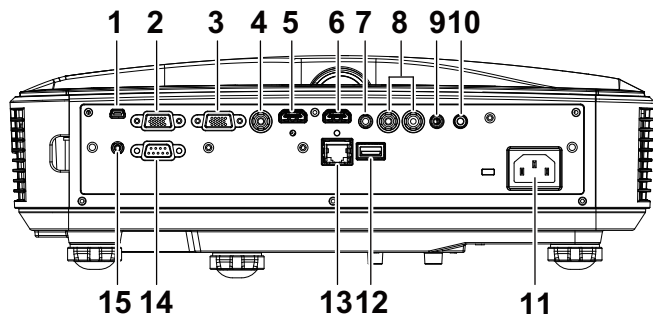
A : Dell S560 壁マウント

B : ユニバーサル壁マウント



メモ : 壁マウントネジ穴 M4 X 4。推奨トルク < 15 kgf-cm。

## プロジェクタの接続



1 ミニ USB (ミニタイプ B)	9 マイクコネクタ
2 VGA 出力コネクタ (モニター ループスルー)	10 オーディオ出力コネクタ
3 VGA 入力コネクタ	11 電源コードコネクタ
4 コンポジットビデオコネクタ	12 USB A コネクタ
5 HDMI 2 コネクタ	13 RJ 45 コネクタ
6 HDMI 1 コネクタ	14 RS232 コネクタ
7 オーディオ入力コネクタ	15 タッチユニット電源
8 オーディオ RAC コネクタ	

**△ 注意:** この章で説明する交換処理の前に、ページ 9 にある「安全上のご注意」をお読みください。



### 注意：安全上のご注意

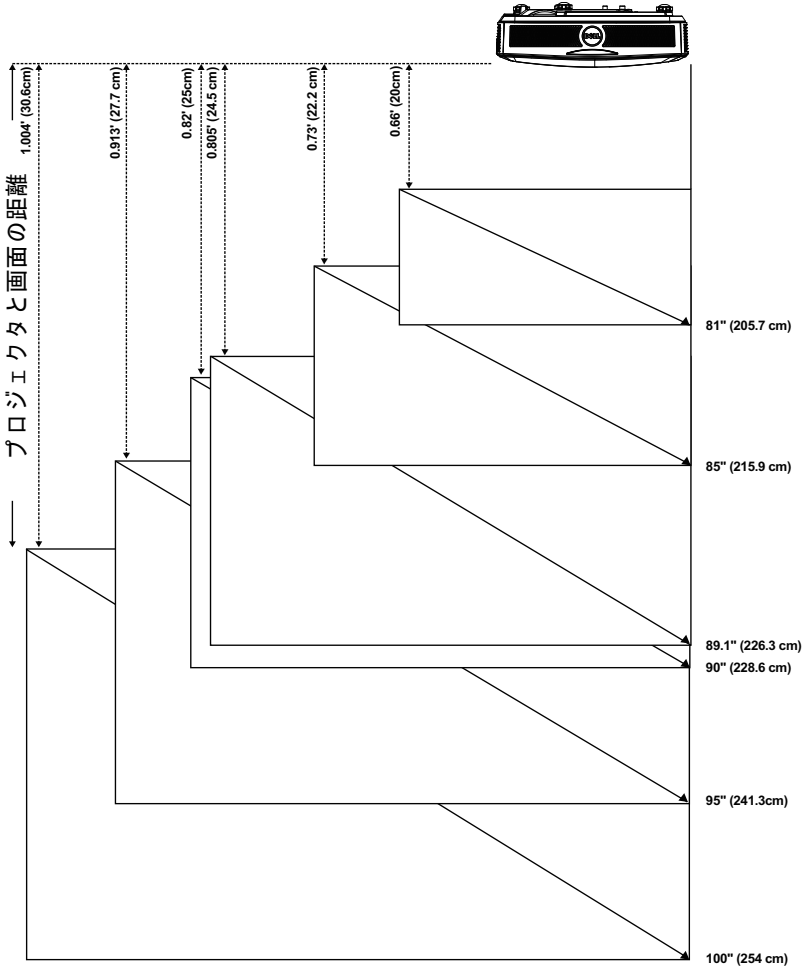
- 1 プロジェクタ機器は熱を発するものの近くでは使用しないでください。
- 2 プロジェクタはほこりの多い場所では使用しないでください。ほこりが原因でシステムが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることがあります。
- 3 プロジェクタはよく換気された場所に設置してください。
- 4 プロジェクタにある通気口や開口部を塞がないでください。
- 5 プロジェクタは 5°C ~ 40°C の周囲温度で操作します。
- 6 プロジェクタの電源をオンにした後、またはオフにした直後は、換気口がきわめて高温になっているため、触れないようにしてください。
- 7 プロジェクタがオンになっている間レンズをのぞき込まないでください。目を損傷する原因となります。
- 8 プロジェクタがオンになっている間、プロジェクタの前に物体を置かないでください。熱で物体が溶けたり燃える原因となります。
- 9 レンズを拭くときはアルコールを使用しないでください。



#### メモ：

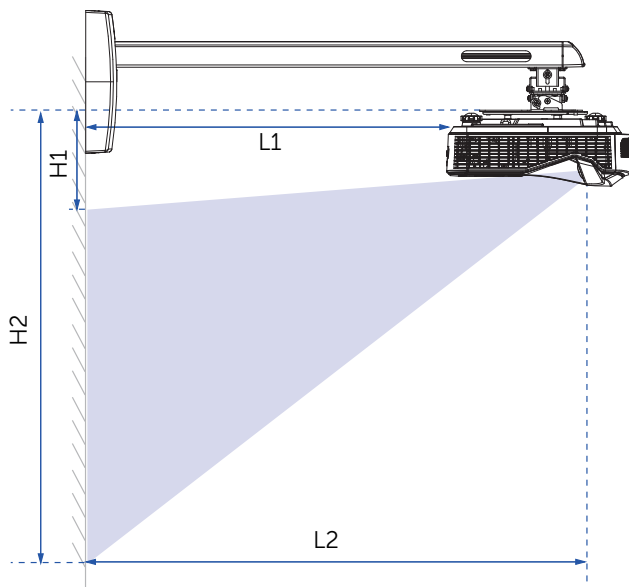
- お客様自身でこのプロジェクタの壁掛けを試みないでください。取り付けは、専門の取り付け業者に依頼してください。
- 推奨されるプロジェクター壁取り付けキット。詳細については、Dell サポート Web サイト ([dell.com/support](http://dell.com/support)) を参照してください。
- 詳細については、プロジェクタに付属する安全情報を参照してください。
- S560P/ S560T プロジェクターは室内専用です。

# 画像サイズの調整

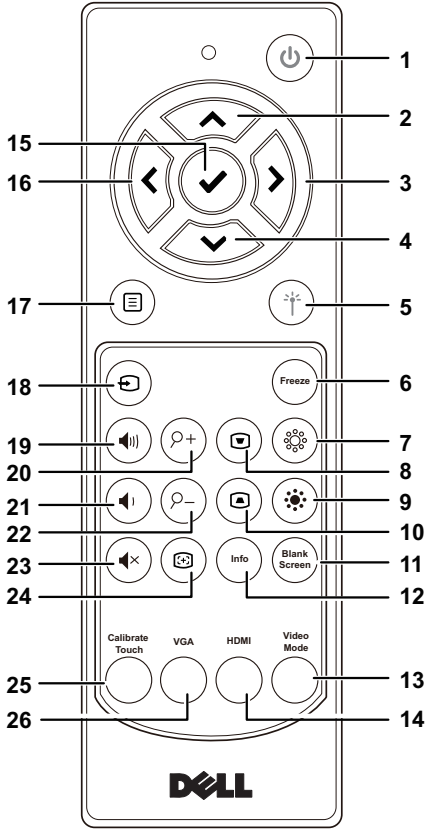






## 画像形状の調整









画面サイズ						H1	H2	L1		L2			
対角線		幅		高さ				ワイド	ワイド				
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm		
81	2057	71	1793	40	1009	6	145	45	1153	8	200	18	452
85	2159	74	1882	42	1059	6	154	48	1212	9	222	19	474
89.1	2263	78	1972	44	1110	6	163	50	1273	10	245	20	497
90	2286	78	1992	44	1121	7	165	51	1286	10	250	20	502
95	2413	83	2103	47	1183	7	177	54	1360	11	278	21	530
100	2540	87	2214	49	1245	7	188	56	1434	12	306	22	558











# リモコン



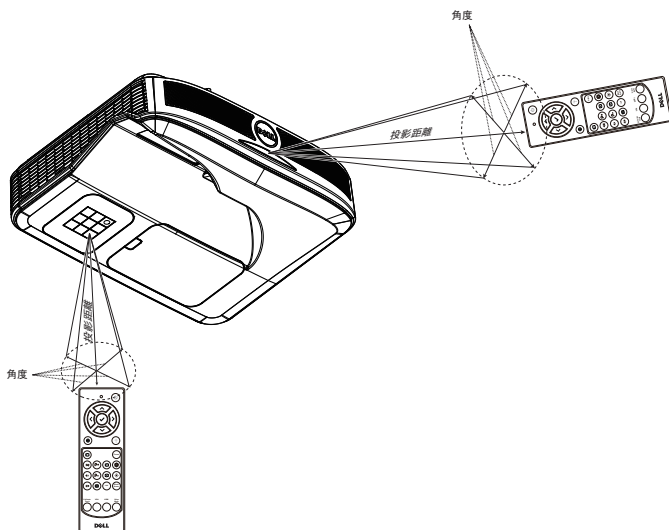
1	電源 	プロジェクタの電源のオン / オフを切り替えます。
2	上 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
3	右 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
4	下 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。

5	レーザー 	リモコンを画面に向け、レーザーボタンを押し続け てレーザーライトを起動します。  <b>⚠ 警告：レーザーがオンになっている間、レー ザーポイントをのぞき込まないでください。 レーザー光線を自分の目に向けしないでくださ い。</b>
6	フリーズ	このボタンを押してスクリーンの画像を一時停止し ます。「フリーズ」をもう一度押すと再生に戻りま す。
7	明るさ+ 	このボタンを押して、明るさを上げます。
8	キーストーン調 整+ 	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こ るゆがみを調整します (+/- 40 度)。
9	明るさ- 	このボタンを押して、明るさを下げます。
10	キーストーン調 整- 	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こ るゆがみを調整します (+/- 40 度)。
11	何もうつってい ない画面	押すとブランク白と黒スクリーンの表示を切り替 え、プレゼンテーションに戻ります。
12	情報	このボタンを押して、プロジェクタの情報を表示し ます。
13	ビデオモード	プロジェクタには、データ（プレゼンテーションス ライド）やビデオ（映画、ゲームなど）の表示に最 適なプリセット設定があります。  <b>ビデオモード</b> ボタンを押して、 <b>プレゼンテーショ ンモード、明るさモード、映画モード、sRGB、ま たはカスタムモード</b> を切り替えます。  <b>ビデオモード</b> ボタンを1回押すと、現在の表示モー ドが表示されます。もう一度 <b>ビデオモード</b> ボタンを 押すと、モードが切り替わります。
14	HDMI	このボタンを押して HDMI ソースを選択します。
15	入力 	このボタンを押して選択を確定します。
16	左 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
17	メニュー 	このボタンを押して OSD を起動します。

18	ソース 	このボタンを押して、VGA、コンポジット、HDMI-1、および、HDMI-2 ソースの間で切り替えます。
19	音量アップ 	このボタンを押して音量を上げます。
20	ズーム + 	このボタンを押して画像を上げます。
21	音量ダウン 	このボタンを押して音量を下げます。
22	ズーム - 	このボタンを押して画像を下げます。
23	消音 	このボタンを押して、プロジェクタのスピーカーを消音にしたり消音を解除します。
24	自動調整 	押すと表示画像が自動調整されます。
25	タッチをキャリブレーション	より高い精度に調整するために、押してタッチをキャリブレーション  <b>メモ:</b> セットアップユーティリティが必要です。
26	VGA	このボタンを押して VGA ソースを選択します。

## リモコンの動作範囲

動作範囲	
角度	±30°
投影距離	7 m/22.97フィート



メモ：実際の動作範囲は、図とわずかに異なることがあります。バッテリー残量が少ない場合も、リモコンでプロジェクタを適切に操作できない原因となります。

# 2

## インタラクティブペンの使用 (S560P の場合のみ)

S560P プロジェクターは接続されたコンピューターのデスクトップ画像をホワイトボードに投影し、コンピューターの入力装置として動作します。ホワイトボードからコンピュータープログラムに移動、選択、対話操作可能です。

S560P はペン型のインタラクティブプロジェクターです。初回設定とインタラクティブなキャリブレーションのために、Dell S560x インタラクティブユーティリティをダウンロードして、インストールします。

### システム要件



メモ：コンピュータには以下の最低システム要件を満たしている必要があります。

オペレーティングシステム	サポートされるタッチポイントの数	S560x インタラクティブユーティリティのインストール <sup>*1</sup>	
		初回設定	以降の使用
Windows 7/8/10	10 点タッチポイント	サポート <sup>*3</sup>	必要なし
MAC OS X (10.7~10.11)	1 点タッチポイント <sup>*4</sup>	サポート	必須。S560P を使用するすべての Mac OS コンピューターにセットアップユーティリティをインストールしてください。
ChromeBook	10 点タッチポイント	未サポート。S560P の初回設定を完了するためには、Windows OS または Mac OS コンピューターを使用してください。	必要なし

\*1：Get S560x インタラクティブユーティリティは、付属の CD または Dell サポートからダウンロードできます。

\*2：S560P には初回キャリブレーションが必要です。使用前にキャリブレーションペンをキャリブレーションしてください。



\*3 : .NET Framework 4.0 のインストールが必要です

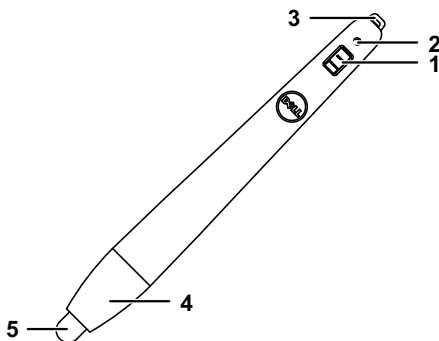
\*4 : Mac OS は 1 点タッチポイントのみサポート



**メモ** : より高い精度のためには、キャリブレーション前に「プロジェクターのみ」表示モードに設定してください。異なるディスプレイモードでのタッチ機能とキャリブレーションの詳細については、「S560T タッチの設定ガイド」トラブルシューティング Q2 を参照ください。

## 対話型ペンについて

インタラクティブペンを使用して、ユーザーはマウス入力と同じように、投影されたコンテンツと対話操作が可能です。

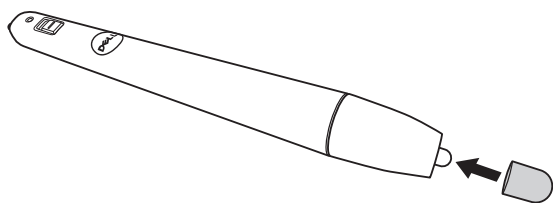
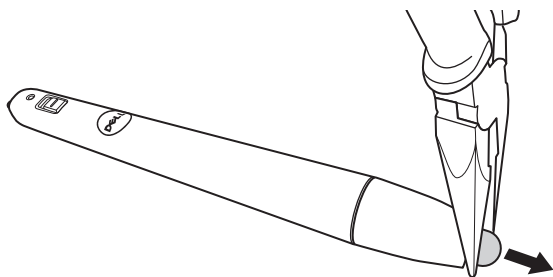


1	電源スイッチ
2	パワーインジケータ ペンの電源を入れると、パワーインジケータが数秒間点滅してから消灯します。 緑：通常動作 赤：バッテリー残量低下 消灯：バッテリー切れ
3	リストストラップホルダ
4	バッテリーへのアクセス。回して開き、バッテリーを交換します。
5	ペン先


## 対話型ペンのペン先を交換する



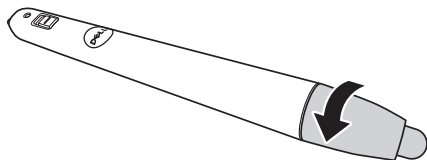
メモ：ペン先が損傷した場合または機能しなくなった場合、交換する必要があります。



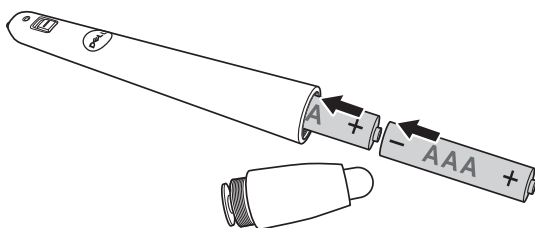
## 対話型ペンのバッテリーを交換する


 **メモ**：バッテリー残量が低下すると、ペンの電源を入れたときにLEDインジケータが赤く点滅し始めます。新しい単4電池2本と交換してください。

1 バッテリー部はペンの先端を回して開きます。

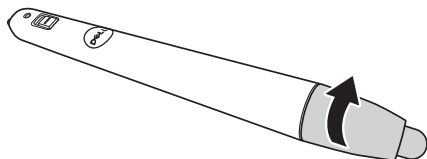


2 極性が合うよう、ペン先端のマークに従ってバッテリーを挿入します。



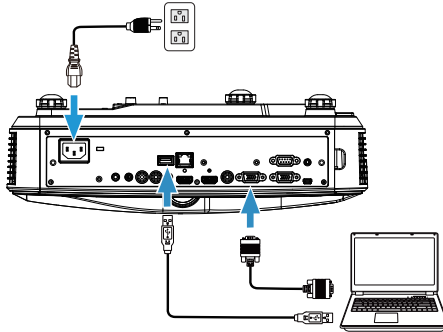
 **メモ**：異なる種類のバッテリーを混合したり、新しいものと古いものを一緒に使用することを避けてください。

3 ペン先端を元に戻し、バッテリーコンパートメントが完全に閉じるまで回します。

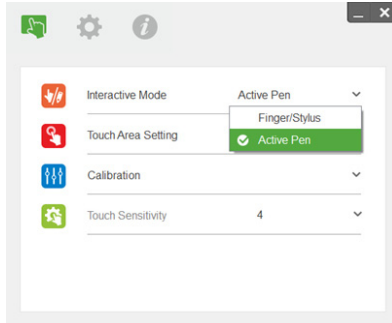


## S560P でのインタラクティブペンの使用

ステップ 1 : HDMI/VGA ケーブルを使用してコンピューターとプロジェクターを接続して、画像を表示します。インタラクティブモードで使用するために USB ケーブルを接続します。Mac OS を使用している場合には、S560x インタラクティブユーティリティを実行して、ペンを設定します。



ステップ 2 : Dell S560x インタラクティブユーティリティを実行し、ユーザーは多点タッチのデフォルトインタラクティブモード (👉) を選択できます。S560P のアクティブペンモードに切り替えます。



Mac OS X では 1 点タッチのみサポートされます。

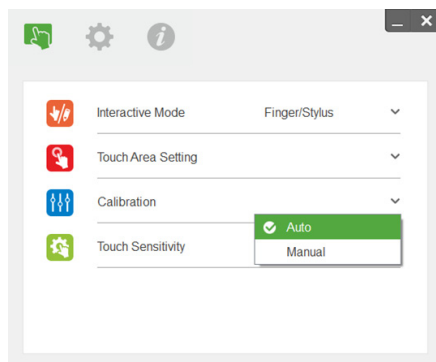


**メモ** : Mac OS コンピューターから Dell S560x インタラクティブユーティリティを実行する必要があります。

## タッチエリア設定

表示モードは「プロジェクターのみ」に切り替えます。

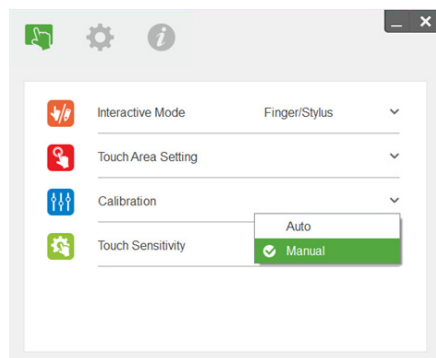
1 自動タッチエリア設定の選択：



### メモ：

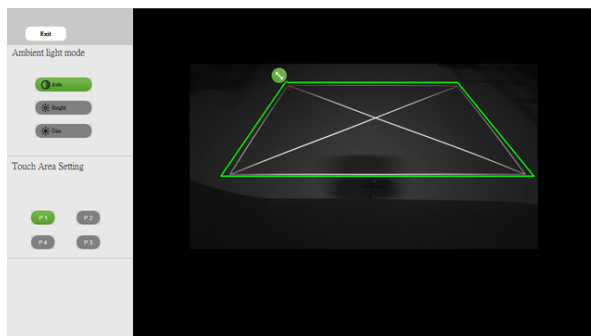
- すべてのソフトウェアアプリケーションを終了
- 周囲の光を低減
- タッチエリア設定時にはレンズを塞いだり、揺らしたりしないこと
- 投影画像が明瞭かどうか確認する。明瞭でない場合には、ピントを合わせて画像をシャープにする
- 失敗メッセージがポップアップで表示された場合、マニュアルタッチエリア設定に切り替えます。

2 マニュアルタッチエリア設定の選択：



- 2-1 カメラが投影画像をキャプチャー後、タッチエリアウィンドウがポップアップします。キャプチャー画像が十分に鮮明でない場合には、実際の周囲光状況に合わせて、「周囲光モード選択」を「自動」から「明るい」または「暗い」に再選択してください。

備考：キャプチャー画像は投影画像とは反転した、実際のカメラビューを示しています。例：P1は右下隅、P2は左下隅などです。



## 2-2 タッチエリア境界微調整

ステップ1： P1 をクリックし、マウスを使用して P1 を左上隅までドラッグします。調節可能な緑色ゾーンと、投影された白フレームを合わせます。

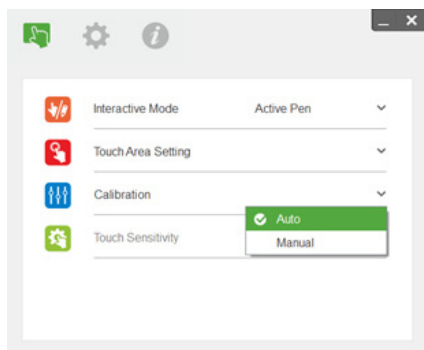
ステップ2： 同様に P2 から P4 まで調整します。調節可能な緑色ゾーンは投影された白フレームと完全に重なります。


ステップ3： 最後に、緑色フレームが投影された白フレームと完全に重なっていることを再度確認します。重なっていない場合には、再度微調整します。

- 2-3 タッチエリアが正しく配置されている場合には、終了ボタンをクリックします。

## ペンの校正

- 1 表示モードは「プロジェクターのみ」に切り替えます。
- 2 S560x インタラクティブユーティリティ (Win、Mac) を使用して、S560P でタッチキャリブレーションを実行します。
- 3 S560x インタラクティブユーティリティの実行時に自動キャリブレーションを選択します。

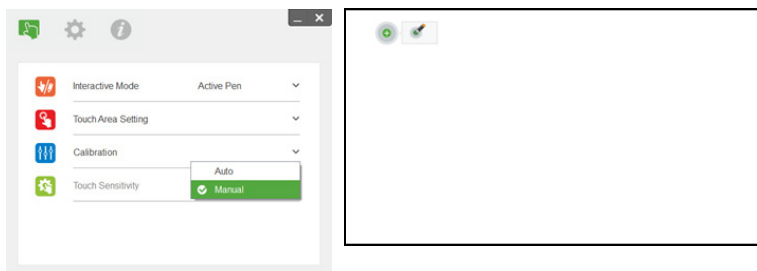


 **メモ**：失敗のメッセージがポップアップ表示された場合には、以下の手順に従い、トラブルシューティングして、自動キャリブレーションを再実行してください。

- すべてのソフトウェアアプリケーションを閉じる
- 周囲の光を低減
- キャリブレーション時にはレンズを塞いだり、揺らしたりしない
- 投影画像が明瞭であるか確認します。ぼやけている場合にはピントを調整し、画像をシャープにする

自動キャリブレーションに失敗した場合、「マニュアルキャリブレーション」を使用して設定します。

- 4 マニュアルキャリブレーションを選択し、キャリブレーションの手順に従います。マニュアルキャリブレーションは高い精度を達成するために推奨されています。



# 3

## インタラクティブタッチの使用 (S560T の場合のみ)

S560T プロジェクターは接続されたコンピューターのデスクトップ画像をホワイトボードに投影し、コンピューターの入力装置として動作します。ホワイトボードからコンピュータープログラムに移動、選択、対話操作可能です。

S560T プロジェクターは 10 点マルチタッチインタラクティブプロジェクターです。インタラクティブ機能を設定するには、「タッチ設定ガイド」の説明どおりにタッチユニットを設置してください。また、初回設定とキャリブレーションには、CD で入手可能および Dell サポートからダウンロード可能な Dell S560x インタラクティブユーティリティを使用します。

### システム要件



**メモ：** コンピュータには以下の最低システム要件を満たしている必要があります。

オペレーティングシステム	サポートされるタッチポイントの数	S560x インタラクティブユーティリティのインストール <sup>*1</sup>	
		初回設定	以降の使用
Windows 7/8/10	10 点タッチポイント	サポート <sup>*3</sup>	必要なし
MAC OS X (10.7~10.11)	1 点タッチポイント <sup>*4</sup>	サポート	必須。S560T を使用するすべての Mac OS コンピューターにセットアップユーティリティをインストールしてください。
ChromeBook	10 点タッチポイント	未サポート。S560T の初回設定を完了するためには、Windows OS または Mac OS コンピューターを使用してください。	必要なし

\*1 : Get S560x インタラクティブユーティリティは、付属の CD または Dell サポートからダウンロードできます。



\*2: S560T は初回のアライメントとキャリブレーションが必要です。使用前の設定プロセスを完了してください。

\*3: .NET Framework 4.0 のインストールが必要です

\*4: Mac OS は1点タッチポイントのみサポート



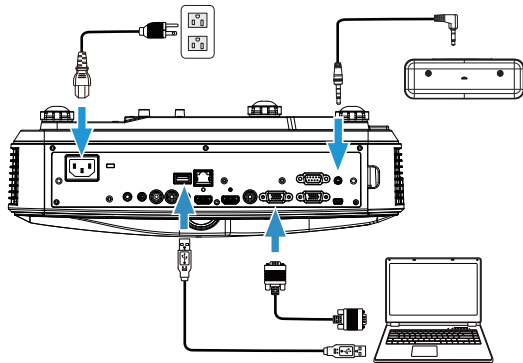
メモ: より高い精度のためには、キャリブレーション前に「プロジェクターのみ」表示モードに設定してください。異なるディスプレイモードでのタッチ機能とキャリブレーションの詳細については、「S560T タッチの設定ガイド」トラブルシューティング Q2 を参照ください。

## インタラクティブタッチの設定

インタラクティブ機能を設定するには、「タッチ設定ガイド」の説明どおりにタッチユニットを設置してください。

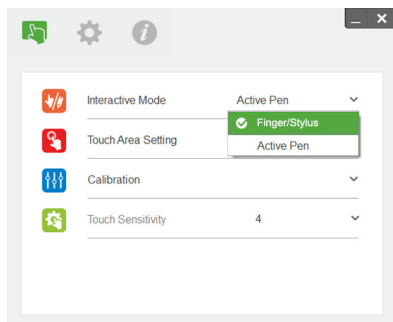
## S560T でのインタラクティブタッチの使用

ステップ1: HDMI/VGA ケーブルを使用してコンピューターとプロジェクターを接続して、画像を表示します。インタラクティブモードで使用するために USB ケーブルを接続します。Mac OS を使用している場合には、S560x インタラクティブユーティリティを実行して、タッチ機能を設定します。



## ステップ 2 :

Dell S560x インタラクティブユーティリティを実行し、ユーザーは多点タッチのデフォルトインタラクティブモード (👉) を選択できます。タッチユニットのインタラクティブタッチを使用する S560T の指 / スタイラスモードに切り替えます。



Mac OS X システムでは、1 点ポイントタッチのみが利用できます。

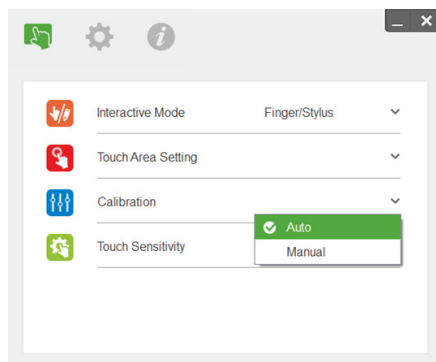


**メモ :** Mac OS コンピューターから Dell S560x インタラクティブユーティリティを実行する必要があります。

## タッチエリア設定

表示モードは「プロジェクターのみ」に切り替えます。

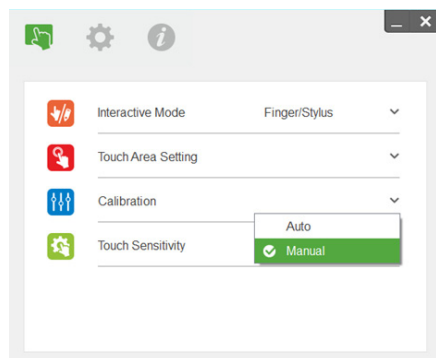
1 自動タッチエリア設定の選択：



### メモ：

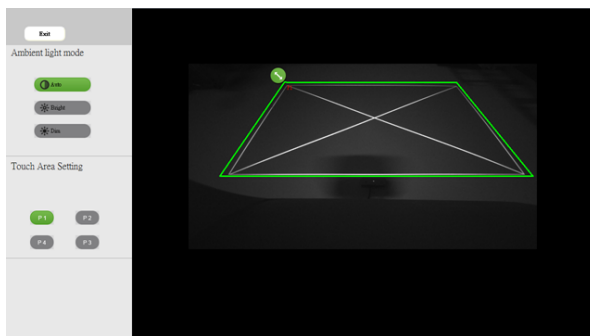
- すべてのソフトウェアアプリケーションを終了
- 周囲の光を低減
- タッチエリア設定時にはレンズを塞いだり、揺らしたりしないこと
- 投影画像が明瞭かどうか確認する。明瞭でない場合には、ピントを合わせて画像をシャープにする
- 失敗メッセージがポップアップで表示された場合、マニュアルタッチエリア設定に切り替えます。

2 マニュアルタッチエリア設定の選択：



- 2-1 カメラが投影画像をキャプチャー後、タッチエリアウィンドウがポップアップします。キャプチャー画像が十分に鮮明でない場合には、実際の周囲光状況に合わせて、「周囲光モード選択」を「自動」から「明るい」または「暗い」に再選択してください。

備考：キャプチャー画像は投影画像とは反転した、実際のカメラビューを示しています。例：P1は右下隅、P2は左下隅などです。



## 2-2 タッチエリア境界微調整

ステップ1： P1 をクリックし、マウスを使用して P1 を左上隅までドラッグします。調節可能な緑色ゾーンと、投影された白フレームを合わせます。

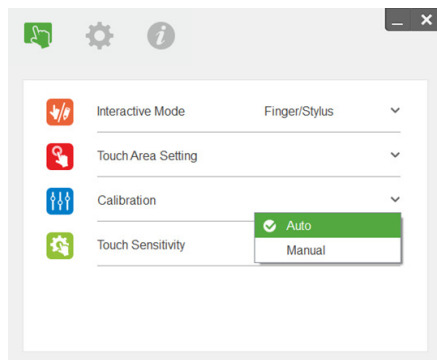
ステップ2： 同様に P2 から P4 まで調整します。調節可能な緑色ゾーンは投影された白フレームと完全に重なります。


ステップ3： 最後に、緑色フレームが投影された白フレームと完全に重なっていることを再度確認します。重なっていない場合には、再度微調整します。

- 2-3 タッチエリアが正しく配置されている場合には、終了ボタンをクリックします。

## インタラクティブタッチキャリブレーション

- 1 表示モードは「プロジェクターのみ」に切り替えます。
- 2 S560x インタラクティブユーティリティ (Win、Mac) を使用して、S560P でタッチキャリブレーションを実行します。
- 3 S560x インタラクティブユーティリティの実行時に自動キャリブレーションを選択します。

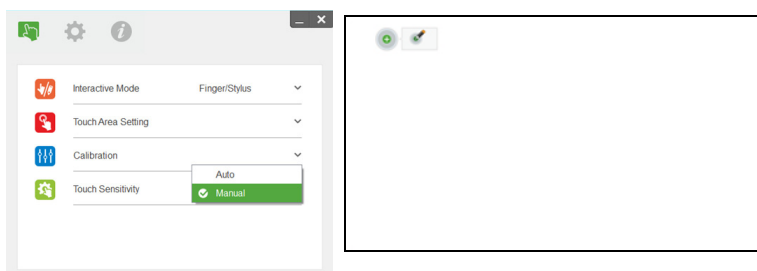


 **メモ**：失敗のメッセージがポップアップ表示された場合には、以下の手順に従い、トラブルシューティングして、自動キャリブレーションを再実行してください。

- すべてのソフトウェアアプリケーションを閉じる
- 周囲の光を低減
- キャリブレーション時にはレンズを塞いだり、揺らしたりしない
- 投影画像が明瞭であるか確認します。ぼやけている場合にはピントを調整し、画像をシャープにする

自動キャリブレーションに失敗した場合、「マニュアルキャリブレーション」を使用して設定します。

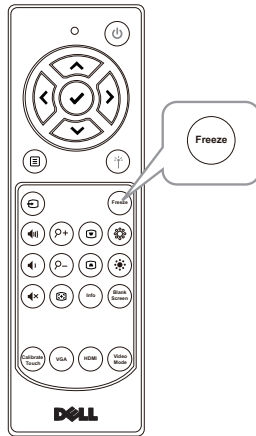
- 4 マニュアルキャリブレーションを選択し、キャリブレーションの手順に従います。マニュアルキャリブレーションは高い精度を達成するために推奨されています。



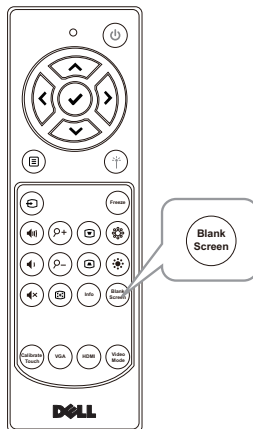
## S560T とドライ消去ホワイトボードの使用

タッチ操作に影響することなくホワイトボードのドライ消去マーカーを使用するには、リモコンの「フリーズ」キーまたは「ブランク画面」キーを使用します。

- 1 フリーズ：フリーズキーを使用してスクリーンの画像を一時停止し、タッチ機能を一時停止します。再度フリーズキーを押して、タッチ操作を再開します。



- 2 ブランク画面：ブランク画面キーを使用して、プロジェクターにブランク画面を表示します。キーを押して白 / 黒の背景を切り替え、通常の動作を再開します。「ブランク画面」モードのときには、タッチ操作は一時停止されています。



# 4

## ワイヤレスディスプレイアダプタの接続

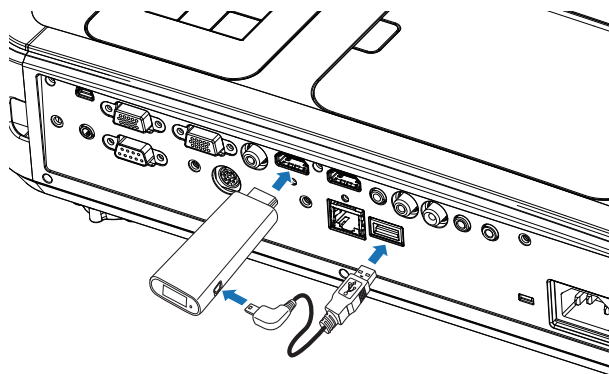
### ワイヤレスディスプレイアダプタの取り付け

プロジェクターはワイヤレスディスプレイアダプター用の HDMI と USB 電源ポートがあります。

ワイヤレスディスプレイアダプターは、S560P/S560T に付属していません。

取り付けステップは以下の通りです：

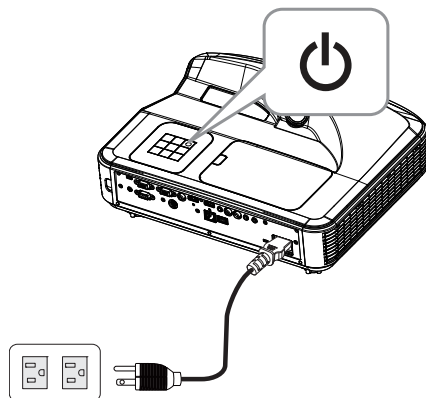
- 1 プロジェクターがすでにオフであることを確認します。
- 2 ワイヤレスディスプレイアダプターに電源 USB ケーブルを接続してから、ワイヤレスディスプレイアダプターを接続します。



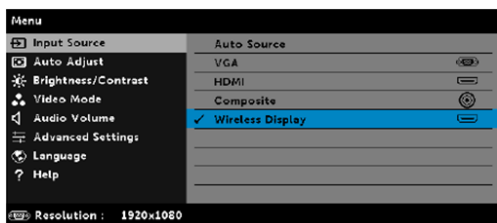
**メモ：**電源 USB 電源ケーブルはワイヤレスディスプレイアダプターに同梱されており、プロジェクターには付属していません。

## ワイヤレスディスプレイアダプタの設定

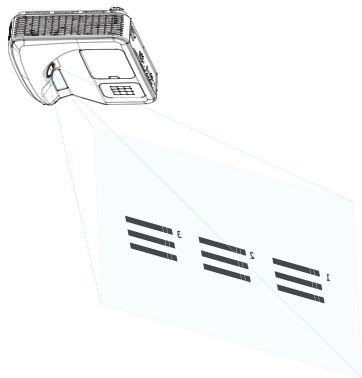
1 プロジェクタに電源を入れます。



2 「ワイヤレスディスプレイ」ソースに切り替えます。



3 ワイヤレスディスプレイアダプター設定の説明書を参照し、ワイヤレス投影に進んでください。





# 5

## トラブルシューティング

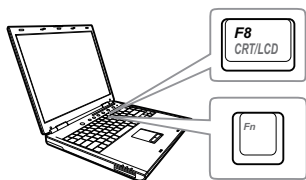
### トラブルシューティングのヒント

プロジェクタに問題が生じた場合は、次のトラブルシューティングを参照してください。問題が解消しない場合は Dell へのお問い合わせ：



[www.dell.com/contactDell](http://www.dell.com/contactDell)。

#### 問題

画面に画像が表示されない





#### 解決方法

- 「入力選択」メニューで、正しい入力ソースを選択していることを確認してください。
- 外部グラフィックスポートが有効になっていることを確認します。Dell ノートパソコンをご使用の場合は   (Fn+F8) を押します。その他のコンピュータについては、それぞれの取扱説明書をお読みください。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。Dell コンピュータの場合、[www.dell.com/support](http://www.dell.com/support) を参照してください。
- すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。ページ 10 の「画像サイズの調整」をご覧ください。
- コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認します。
- ランプがしっかりと取り付けられているかどうか確認してください（ページ 38 の「ランプの交換」をご覧ください）。
- 詳細設定の投写機設定メニューのテストパターンを使用します。テストパターンの色が正しいことを確認します。

## 問題 (続き)

画像が一部しか表示されない、スクロールする、または、正しく表示されない



## 解決方法 (続き)

- 1 リモコンの自動調整ボタンを押します。
- 2 Dell ノートパソコンをお使いの場合は、コンピュータの解像度を 1080p (1920 x 1080) に設定します。
  - a Microsoft® Windows® デスクトップの空白部分を右クリックし、**プロパティ**をクリックして**設定**タブを選択します。
  - b 外部モニターポートの設定が 1920 x 1080 ピクセルになっていることを確認します。
  - c   (Fn+F8) を押します。

解像度を変更できない場合や、モニターがフリーズする場合は、すべての装置とプロジェクトを再起動します。

Dell ノートパソコンをご使用でない場合は、取扱説明書をご覧ください。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。Dell コンピュータの場合、[www.dell.com/support](http://www.dell.com/support) を参照してください。

画面にプレゼンテーションが表示されない

ノートパソコンをお使いの場合は、  (Fn+F8) を押します。

画像が不安定、または、ちらつく

**アドバンスメニューの OSD 表示設定**でトラッキングを調整します (PC モードのみ)。

画像に縦線が入る

**アドバンスメニューの OSD 表示設定**で周波数を調整します (PC モードのみ)。

画像の色が正しくない

- ディスプレイがグラフィックスカードから間違った信号出力を受信する場合は、**アドバンスタブの OSD 画像設定**で信号の種類を **RGB** に設定してください。
- **アドバンスメニューの投写機設定のテストパターン**を使用します。テストパターンの色が正しいことを確認します。

画像の焦点が合わない

- 1 投影画面がプロジェクターから許容距離内にあることを確認します (1.46 フィート [44.6cm] ~1.83 フィート [55.8])。

問題 (続き)	解決方法 (続き)
16:9 DVD を表示すると画像が伸びる	<p>プロジェクタは自動的に入力信号形式を検出します。投影画像の縦横比を入力信号形式に従って元の初期設定で維持します。</p> <p>画像がそれでも伸びる場合、OSD のアドバンスメニューの表示設定で縦横比を調整してください。</p>
画像が反転する	OSD でアドバンスの <b>投写機設定</b> を選択し、投影モードを調整します。
ランプが切れた、または、音がする	ランプの寿命がなくなると、切れたり音がすることがあります。この場合は、プロジェクタの電源は入りません。ランプを交換するには、ページ 38 の「ランプの交換」を参照してください。
ランプライトがオレンジ色で点灯	<b>ランプライト</b> がオレンジ色で点灯する場合は、ランプを交換します。
ランプライトがオレンジ色で点滅	<p><b>ランプ</b>のライトがオレンジ色に点滅する場合、ランプモジュール接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。</p> <p><b>ランプ</b>と<b>電源</b>ライトがオレンジ色に点滅している場合はランプドライバが失効し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。</p> <p><b>ランプ</b>および<b>温度</b>ライトがオレンジ色で点滅し、<b>電源</b>ライトが青色で点灯する場合は、カラーホイールが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。</p> <p>保護モードを消去するには、電源ボタンを 10 秒間押し続けます。</p>
温度ライトがオレンジ色で点灯	<p>プロジェクタが過熱しています。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell へのお問い合わせ： www.dell.com/contactDell。</p>

---

問題 (続き)	解決方法 (続き)
温度 ライトがオレンジ色で点滅	プロジェクタのファンが故障すると、プロジェクタは自動的に停止します。電源ボタンを10秒間押し続けることで、プロジェクタモードを消去してみてください。5分間待ってから、再び電源をオンにしてください。問題が解消しない場合は Dell へのお問い合わせ : <a href="http://www.dell.com/contactDell">www.dell.com/contactDell</a> 。
リモコンがスムーズに動作しない、または、限られた範囲でしか動作しない	電池の残量が少なくなっています。レーザービームが弱い場合は、新しい単4電池2本と交換します。

---

## ガイド信号

プロジェクターの 状態	説明	コントロールボタン		インジケータ	
		電源	温度 (オレンジ色)	ランプ (オレンジ色)	
スタンバイモード	スタンバイモードのプロジェクタ。電源を入れる準備ができました。	白の点滅	オフ	オフ	
ウォームアップ モード	プロジェクタをウォームアップして電源を入れるまでしばらく時間が掛かります。	白	オフ	オフ	
ランプ点灯	通常モードのプロジェクタ。画像表示の準備ができました。 ☑️メモ：OSDメニューにアクセスしていません。	白	オフ	オフ	
冷却モード	プロジェクタは冷却してシャットダウンします。	白	オフ	オフ	
プロジェクタが 過熱	通気口が塞がれているか、周囲温度が 40°C を超えていることが考えられます。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。通気口が詰まっておらず、周囲温度が動作範囲内にあることを確認します。問題が解消しない場合は、Dell へのお問い合わせ。	オフ	オレンジ色	オフ	
ファンが故障して います	ファンの 1 つが故障しました。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合は、Dell へのお問い合わせ。	オフ	オレンジ色で 点滅	オフ	
ランブドライバが 故障しています	ランブドライバが故障しました。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。電源コードを抜きます。電源コードを抜いてから 3 分後、ディスプレイを再度オンにします。この問題が解消しない場合は、Dell へのお問い合わせ。	オレンジ色で点滅	オフ	オレンジ色で 点滅	
カラーホイールが 故障しています	カラーホイールは始動しません。プロジェクタが故障しました。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。電源コードを抜きます。電源コードを抜いてから 3 分後、ディスプレイを再度オンにします。この問題が解消しない場合は、Dell へのお問い合わせ。	白	オレンジ色で 点滅	オレンジ色で 点滅	
ランプが故障して います	ランプが故障しています。ランプを交換します。	オフ	オフ	オレンジ色	
エラー - DC 供給 (+12V)	電源供給が中断されました。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。電源コードを抜きます。電源コードを抜いてから 3 分後、ディスプレイを再度オンにします。この問題が解消しない場合は、Dell へのお問い合わせ。	オレンジ色で点滅	オレンジ色	オレンジ色	
ランプモジュール の接続が失敗	ランプモジュールの接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。問題が解消しない場合は、Dell へのお問い合わせ。	オフ	オフ	オレンジ色で 点滅	

# 6 メンテナンス

## ランプの交換

△ **注意：**この章で説明する交換処理の前に、ページ9にある「安全上のご注意」をお読みください。

メッセージ「ランプは全出力操作で耐用年数の終わりに達しています。交換をお勧めします。www.dell.com/lamps」が画面上に表示されるときは、ランプを交換してください。ランプを交換してもこのメッセージが表示される場合は、Dellまでお問い合わせください。


△ **注意：**オリジナルのランプを使用して、プロジェクタの安全で最適な作業環境を確実にしてください。

△ **注意：**ランプは使用中は大変熱くなります。ランプを交換する前に、少なくとも30分間プロジェクタを冷却します。

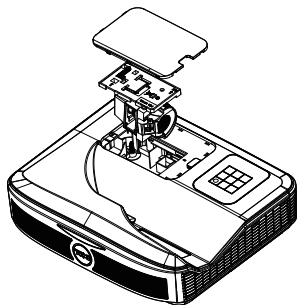
△ **注意：**電球やランプのガラスには絶対に触れないでください。プロジェクタのランプは壊れやすく、触れると破損することがあります。破損した鋭いガラスの破片で怪我をすることがあります。

△ **注意：**ランプが壊れた場合は、破片をすべてプロジェクタから取り除き、州や地域、国の法律に従って廃棄またはリサイクルしてください。詳しくはwww.dell.com/hgをご覧ください。

- 1 プロジェクタの電源を切り、電源コードの接続を外します。
- 2 プロジェクタを少なくとも30分間そのままにして冷却します。
- 3 トップカバーを固定しているネジを緩めてカバーを取り外します。
- 4 ランプを固定しているネジを緩めます。
- 5 金属製のハンドルを持ってランプを取り出します。

 **メモ：**Dellは、保証によって交換したランプの返却をお願いする場合がございます。その他の場合は、お近くのゴミ収集場所の住所について、お住まいの地域のゴミ処理担当機関までお問い合わせください。

- 6 新しいランプと交換します。
- 7 ランプを固定しているネジを締めます。




- 8 トップカバーを元に戻してネジを締めます。
- 9 アドバンスメニューの OSD パワー設定のランプリセットに対して「はい」を選択して、ランプ使用時間をリセットします。新しいランプモジュールを変更すると、プロジェクタはランプ時間を自動的に検出しリセットします。

△ 注意：ランプの廃棄（米国のみ）

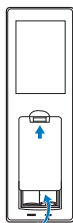
Ⓜ 当製品内部のランプには水銀が含まれています。お住まいの地域、州および国の規定に従って廃棄してください。詳しくは、[WWW.DELL.COM/HG](http://WWW.DELL.COM/HG)、または、《米》エレクトロニクス産業協議会のウェブサイト [WWW.EIAE.ORG](http://WWW.EIAE.ORG) をご覧ください。ランプ別の廃棄方法については [WWW.LAMPRECYCLE.ORG](http://WWW.LAMPRECYCLE.ORG) をご覧ください。

## リモートコントロールバッテリーの交換

 **メモ**：使用していないときは、リモコンからバッテリーを取り外してください。

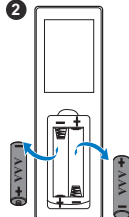
1 タブを押してバッテリー収納部のカバーを持ち上げます。

①



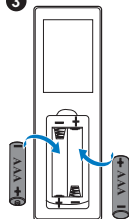
2 バッテリーの極性 (+/-) のマークをチェックします。


②



3 バッテリー収納部のマークに従って極性が合うように、バッテリーを挿入します。

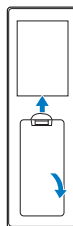
③



 **メモ**：異なる種類のバッテリーを混合したり、新しいものと古いものを一緒に使用することを避けてください。

4 バッテリーカバーを元に戻します。

④





# 7 仕様

---

ライトバルブ	0.65" 1080p S600 DMD、DarkChip3™
明るさ	3400 ANSI ルーメン（最大）
コントラスト比	1800:1 標準（フルオン / フルオフ）
均質性	80% 標準（日本規格 - JBMA 日本事務機械工業会）
画素数	1920 x 1080 (1080p)
縦横比	16:9
表示可能な色	10.7 億色
カラーホイール速度	2 倍
投影レンズ	1 倍（3D ディスプレイの場合） 固定焦点レンズ (WA21)、F#/2.4 スローレシオ = UST TR0.25 オフセット比 : 118.5 ± 5%
投影画面サイズ	81 ~ 100 インチ 最適なサイズ : 226.31 cm
投影距離	1.46 ~ 1.83 フィート (44.6 ~ 55.8cm)
ビデオ互換性	コンポジットビデオ : NTSC : M (3.58 MHz)、4.43 MHz PAL : B、D、G、H、I、M、N、4.43 MHz SECAM : B、D、G、K、K1、L、4.25/4.4 MHz コンポーネントビデオ入力 (VGA 経由) : 1080i (50/60 Hz)、720p (50/60 Hz)、576i/p、480i/p HDMI 入力 : 1080p、720p、576i/p、480i/p
電力供給	ユニバーサル AC 90 ~ 264 V 50 ~ 60 Hz (PFC 入力付)

## 消費電力

通常モード : 320 W  $\pm$  10% @ 110 Vac

エコモード : 270 W  $\pm$  10% @ 110 Vac

スタンバイモード : < 0.5 W

ネットワークスタンバイ : < 3 W



**メモ** : デフォルトで、プロジェクターは 20 分間動作しないと省電力モードに入ります。

## オーディオ ノイズレベル

スピーカー 2 つ、10 ワット RMS

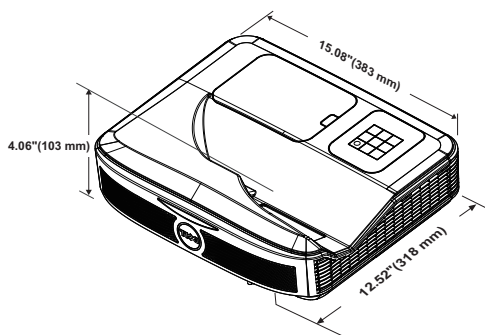
通常モード : 36 dB(A)

エコモード : 32 dB(A)

## プロジェクターの重量 寸法 (幅 x 高さ x 奥行)

10.36 ポンド (4.7kg)

15.08 x 12.52 x 4.06 インチ  
(383 x 318 x 103 mm)



## 環境条件

動作温度 : 5 °C ~ 40 °C (41 °F ~ 104 °F)

湿度 : 80% 最大

保管温度 : 0 °C ~ 60 °C (32 °F ~ 140 °F)

湿度 : 90% 最大

輸送温度 : -20 °C ~ 60 °C (-4 °F ~ 140 °F)

湿度 : 90% 最大

## I/O コネクタ

電源 : 1 つの AC 電源ソケット (3 ピン - C14 インレット)

VGA 入力 : 1 つの 15 ピン D-sub コネクタ (青)、VGA 入力、(アナログ RGB/ コンポーネント入力信号用)。

VGA 出力 : 1 つの 15 ピン D-sub コネクタ (黒) (VGA ループスルー用)。

コンポジットビデオ入力：1つの黄色 RCA ジャック（CVBS 信号用）。

HDMI 入力：2つの HDMI コネクタ（HDMI 1.4a 仕様 HDCP 準拠のサポート用）。

アナログオーディオ入力：1つの 3.5 mm ステレオミニフォンジャック（青）/1つの x オーディオ入力 RCA ペア（L/R）

可変オーディオ出力：1つの 3.5 mm ステレオミニ電話ジャック（緑）。

2つの 3.5 mm ステレオミニフォンジャック（青）と 2組の RCA コネクタ（赤 / 白）

マイク：1つの 3.5 mm ステレオミニ電話ジャック（ピンク）。

USB（ミニ USB）ポート：ファームウェアアップグレード / インタラクティブ用の 1つのミニ USB スレーブ。

5V/1.8A 出力：ドングル電源をサポートするための USB タイプ A 5V DC / 1.8 A 出力が 1つ。

RS232 ポート：RS232 通信用 9ピン D-sub 1 式。

RJ-45 ポート：ネットワークコントロール内蔵用の 1つの RJ-45 コネクタ。

タッチユニット：1つのカーテンモード電源ジャック

ランプ  
ランプ寿命

PHILIPS 260 W ユーザー交換可能なランプ  
通常モード：最長 3000 時間  
エコモード：最長 5000 時間



メモ：プロジェクタのランプ寿命定格は明るさの低下のみを測定し、ランプが故障し光の出力をやめるまでの時間を計る仕様ではありません。ランプの寿命は 50 パーセント以上のランプサンプル群が、指定されたランプに対して約 50 パーセントの定格ルーメンの明るさが減少するまでの時間として定義されます。ランプの寿命定格は、いかなる方法でも保証されません。プロジェクタランプの実際の動作寿命は操作条件と使用パターンにより異なります。埃っぽい環境、高温下および突然の電源遮断を含むストレスの多い条件で、長時間プロジェクタを使用すると、ランプの動作寿命が短くなったり、ランプが故障する原因となります。

# 8

## 追加情報

---

プロジェクタの使用方法に関する追加情報については、  
[www.dell.com/support/manuals](http://www.dell.com/support/manuals) にある **Dell プロジェクターユーザーガイド**  
をご覧ください。

# 9

## Dell へのお問い合わせ

---

米国内のお客様は 800-WWW-DELL (800-999-3355) までご連絡ください。



**メモ**：インターネット接続がない場合は、発注書、梱包明細書、請求書、または Dell 製品カタログにある連絡先情報をご覧ください。

Dell では、さまざまなオンラインおよび電話サポートとサービスを提供しております。ご利用については、お住まいの国および製品によって異なります。また、お住まいの地域でご利用いただけないサービスもございます。販売、技術サポート、お客様サービスに関する Dell へのお問い合わせ：

- 1 [www.dell.com/contactDell](http://www.dell.com/contactDell) を参照してください。
- 2 インタラクティブマップで地域を選択します。
- 3 連絡先のセグメントを選択します。
- 4 必要なサービスまたはサポートリンクを選択します。

# 索引

## D

Dell への

お問い合わせ 44, 45

Dell へのお問い合わせ 5, 38

## さ

サポート

Dell へのお問い合わせ 44, 45

## し

仕様

I/O コネクタ 42

オーディオ 42

カラーホイール速度 41

コントラスト比 41

ノイズレベル 42

ビデオ互換性 41

プロジェクタの重量 42

ライトバルブ 41

均質性 41

寸法 42

投影レンズ 41

投影画面サイズ 41

投影距離 41

明るさ 41

消費電力 42

環境条件 42

画素数 41

縦横比 41

表示可能な色 41

電力供給 41

## せ

接続ポート

HDMI1 コネクタ 8

HDMI2 コネクタ 8

RJ45 コネクタ 8

RS232 コネクタ 8

USB A コネクター 8

VGA 入力コネクター 8

VGA 出力コネクター (モニターープスルー) 8

オーディオ RAC コネクター 8

オーディオ入力コネクター 8

オーディオ出力コネクター 8

コンジットビデオコネクタ 8

タッチユニット電源 8

マイクコネクタ 8

ミニ USB (ミニタイプ B) 8

電源コードコネクタ 8

## た

対話型ペン

バッテリー 17

パワーインジケータ 17

ペン先 17

リストストラップホルダ 17

電源スイッチ 17

## て

電話番号 45

## ふ

プロジェクタのフォーカス調整  
10, 31

## ほ

本体 7  
    カメラ 7  
    ランプカバー 7  
    レンズ 7  
    赤外線 (IR) 受信機 7  
    電源ボタン 7

## ら

ランプの交換 38

## り

リモコン 12